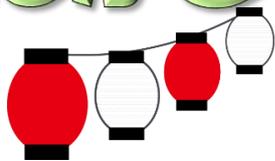


たかといちどいだよ



令和5年8月 第94号
たかといちどい保育園



さじなめて わらべたのしも 夏氷

— 山口 華子 —

暑い日が続いています。かき氷が恋しい毎日です。夏まつりでは定番だったのですが、ここ3年程は自粛ムードで、なかなか思い切り楽しめなかったように思います。7月の中頃、ある子から「大正筋の縁日に行きます」という話を聞きました。ここは毎年開催されていたようですが、今年は思い切り楽しめそうです。大正筋の縁日でも「さじなめて わらべたのしも 夏氷」の姿が見られたのではないのでしょうか。

もう一つ、かき氷を季語とする楽しげな一句を見つけました。「弁解の 口を真っ赤に かき氷」叱られている子ども。口を真っ赤にしてかき氷を食べながら一生懸命言い訳をしている。叱っている方は、その口に目が行ってしまって思わず笑ってしまいそうになっている。そんな情景が浮かんできます。

無邪気な子どもの様子にかき氷がよく似合います。暑い夏もこんなユーモアで乗り切れると、何となくやり過ごせそうな気がします。

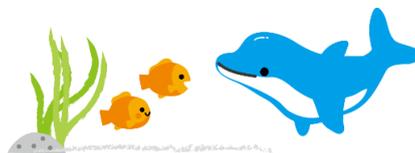
保育園では、もう少し、プール遊び・水遊びが続きます。屋上に設置したプールでは、毎日、子どもたちの歓声が響いています。あさひ、ひかり組の子どもたちはテラスでぴちゃぴちゃと水遊びを楽しんでいます。子どもたちはプール遊び・水遊びが大好きです。初めは水を怖がっていた子も、まわりの子どもたちの歓声に触発され、楽しさを覚えてきています。

ところで、今年、梅雨が明けたのは7月20日頃でした。これは速報値として発表されたもので、この速報値とは別に、9月頃、春から夏にかけての実際の天候の経過を検討し、確定値が発表されるそうです。この「速報値」と「確定値」は必ず一致するものではなく、ずれることが良くあります。因みに昨年度の梅雨明けの速報値は6月28日で、観測史上最も早い梅雨明けだったと言われていたのですが、確定値では、25日あとの7月25日で、平年より4日遅かったそうです。また、梅雨入り、梅雨明けが確定されない時もあるということです。近畿地方では、1951年からの観測史上1963年の梅雨入り、1993年の梅雨明けが特定されていません。さて、今年はどうだったのでしょうか。

大暑も過ぎ、8月には立秋を迎えます。月末には秋の準備を始めているはずですが、もう少しこの暑さを楽しみたいと思います。今月もよろしくお願ひいたします。 上野 理生

🐟 • 🐚 • 🦀 • 🐟 • 🌟 • 8月の予定 • 🐟 • 🌟 • 🏊 • 🐟 • 🚢

救急訓練	1日(火)・18日(金)	誕生会	4日(金)
同園会(1年生)・たかとりちどりっこ☆みんな集合(2年生～6年生)			19日(土)
発育測定	21日(月)～23日(水)		
避難訓練	22日(火)		
体育あそび	3日(木)・9日(水)		





あつたむち



入園してから4か月が経ち、保育園の生活にも慣れてきて、少しずつ一人ひとりの生活リズムができてきました。遊んだ後は、11時過ぎから給食を食べ、その後は眠くなった子どもから寝ています。眠いことを泣いて伝える子どももいれば、目をこすって表現している子どももいます。日々心地良く眠ることができるよう、抱っこをしたり、優しく体を撫でたりしてゆったりと関わっています。最近は、保育士に抱かれると安心し、ぐっすり眠るようになりました。途中で何度か目を覚まして、保育士が近くにいると安心し、また目を閉じて眠ります。少しずつ保育士との信頼関係ができていっていると感じます。

今月もたくさん水に触れて子どもたちが大好きな水遊びを楽しめるようにしたいと思います。また、氷や寒天、なぐり描きやシールなど、様々な素材に触れて遊べるよう環境を整えていきます。



今月のねらい：様々な素材に触れて保育士と一緒に遊ぶことを楽しむ



うたごえむち



気温が高くなり、暑さも厳しくなってきました。プールに入ったり、水に触れたり、夏ならではの遊びを楽しみました。大きいビニールプールに大喜び。友だちと水をかけ合ったり、水で遊んだ時は「おおきい!」「つめた〜い」と話したりしながら楽しむ姿が見られました。引き続き水遊びをしたり、寒天や泡などの感触遊びも取り入れたりし、様々な素材に触れることを楽しめるようにしていきたいと思います。

少しずつ言葉を話せるようになり、保育士や友だちとやりとりをすることが増えてきました。様々な遊びを通して、友だちと関わって遊ぶことを楽しめるよう仲立ちしていきます。



今月のねらい：友だちとの関わりを深めながら、一緒に遊ぶことを楽しむ



うたごえむち



蒸し暑い日が続く中、感触遊びや水遊びなど、夏ならではの遊びを楽しみました。また、初めて屋上園庭の大きいプールにも入りました。どの遊びも存分に楽しみながら、「たのしい!」「きもちいい〜」「つめたい」などと声に出し、夏の遊びの楽しさや水の気持ち良さを感じているようでした。

着替えを自分でしようとする姿がよく見られるようになってきました。傍で手を添えたり、できたことを十分に認めたりして、自分でできた喜びを感じられるようになっていきます。また、脱いだ服を畳むことを伝えていきたいと思います。



ぶるぶるしてるね



つめたくてきもちいい



今月のねらい：衣服の着脱をしたり、畳もうとしたりする



きりんグループ



脱いだ服を綺麗に畳んでカバンの中に入れるという習慣がつくように、子どもたちと一緒に確認をしました。服の畳み方のイラストを見ながら一つひとつ丁寧に畳もうとしたり、年上の友だちが年下の友だちに伝えたりするなど、意欲的に取り組んでいました。引き続き、子どもたちの傍で畳み方を知らせ、一人ひとりが丁寧に畳もうとする姿を十分に認めていきたいと思っています。

今月は、様々な素材を用意し、子どもたちがイメージしたものをのびのびと表現し作ることができる環境を整えていきます。また、子どもたちで遊びを考えたり進めたりする楽しさが味わえるように、一人ひとりの発想を取り入れていきたいと思っています。



きれいに
たためるよ



きちんと
いれたよ



今月のねらい：友だちと協力して見立て遊びをすることを楽しむ



うさぎグループ



先月は、みんなで育てているオクラを切って中を見たり、触ったりしました。ねばねばを水で流そうとした時に、よりねばねばになったことから、切ったオクラに水を入れてみるようになりました。トロトロになったので、みんなで普通の水との感触の違いを楽しみました。他の場面でもこのように小さな発見から遊びへと発展させ、興味関心がより広がるよう配慮していきます。

今月は、服の丁寧な畳み方とそうでない時の畳み方を比べて見せるなど、どちらがよいと思うか考える機会を作り、脱いだ服を丁寧に畳めるようにしていきます。



ねばねばだ



とろとろ
してるよ



今月のねらい：脱いだ服を丁寧に畳む



ぞうグループ



先月は、玩具や椅子、自分の持ち物など、身の回りのものを最後まで丁寧に片付けることをくり返し伝えました。毎日過ごす部屋をきれいに保ち、持ち物の整理をするよう伝えることで、自分で気付いて片付けたり、友だちの姿を真似て片付けたりする姿が見られました。今後も、片付けが日々の生活の習慣となるよう見守っていきます。

今月は、自分たちで遊びに必要な物を作ったり、好きな物を思い思いに作ったりすることを楽しくめるよう、様々な素材を用意して遊べる環境を整えていきます。



きれいに
かたづけよう



いすも
かたづける



きれいに
たたむよ

今月のねらい：様々な素材のものを使い、ものづくりを楽しむ

ひかりぐみ

《うたっておどってたのしいね！》



ひかりぐみの子どもたちは歌ったり踊ったりすることが大好き！何がしたいか聞くと、「きらきらする～」「ぴかぴかぶー！（体操）」と、可愛くリクエストします。毎朝、みんなで色々な歌をうたって踊って楽しんでいます。今月はその様子をご紹介します！



きらきら～



ぶんぶんぶん！

「てをたたきましょう」

歌詞にある、「タンタンタン」に合わせて手や足を動かしています。笑った顔、怒った顔、泣いた顔など、歌詞に合わせて色々な表情で楽しんでいます！

「きらきらぼし」

子どもたちお気に入りの1曲です。手をきらきらと動かしたり、体を揺らしたりして楽しんでいます！



げんたいじんっ



わあ！



「ぴかぴかぶー」

子どもたちにはおなじみの1曲です！歌詞の「つかまえた！」という部分で子どもたちをぎゅーっと捕まえると、とても嬉しそうな表情を見せています。

「からだだんだん体操」

色々な動物になりきって楽しんでいます。歌詞にある、「ゴー！ゴー！」に合わせて、元気よく歌う姿がとてもかわいいです！

《おすすめのキャンプ場 3選》



暑い季節となりましたが休日はどのように過ごしておられますか。私はキャンプにはまっています。アウトドアブームが少し落ち着いてきたものの、予約が必要なキャンプ場だとほとんどの週末は予約でいっぱいです。急に予定が空いてもキャンプに行きにくい状況が続いています。そこで、予約不要ですぐに行けるキャンプ場を紹介したいと思います。

まずは、明石市にある「林崎海水浴場」です。トイレと水道が綺麗な所がキャンプをする上で嬉しい点です。そして何より、目の前に広がる瀬戸内海と沈む夕日を眺めながら焚火ができる所がおすすめです。子どもと一緒に海で泳いだり釣りをしたりして、夜は焚火を囲むという夏を満喫できるスポットでもあります。ぜひ一度遊びに行ってみてください。

2つ目は赤穂市にある「丸山県民サンビーチ」です。神戸から少し距離はありますが、ここも海が目の前に見える景色の良いキャンプ場です。人気のため、午前中には駐車場が埋まることもあります。早い時間に着けば眺めの良い場所でキャンプをすることができます。波の音を聞きながら美味しい料理を食べるのもおすすめです。

3つ目は丹波篠山市にある「鰐市(つばいち)ダム」です。ここは山に囲まれている立地で小川も流れていたり木陰もあつたりするので、比較的涼しく過ごすことができます。また、湧き水も有名で冷たい水をいつでも汲むことができます。家から持って行くと荷物になる水を現地で調達できる点がおすすめのポイントです。川の音を聞きながら湧き水で珈琲を淹れるなど、優雅な時間を楽しめます。

キャンプは家族や友だちはもちろん1人でも楽しめるレジャーです。自分なりのスタイルで非日常を味わうのも気分転換になるのではないのでしょうか。「鰐市ダム」は利用料金がかかりません。「林崎海水浴場」と「丸山県民サンビーチ」は駐車場料金を払うだけでキャンプができます。興味がある方も、ない方でも、「来た時よりも美しく」を心掛けてマナーを守りながらアウトドアを楽しんでみてはいかがでしょうか。

森山 隼人

